

# 当院は下記の調査を実施しています

## 課題名

リウマチ性疾患治療中に生じた COVID-19 感染症に関する研究

### 調査の目的・意義

現在、新型コロナ肺炎(COVID-19)は世界中で大流行しており、社会的にも大きな影響を与えています。新型コロナウイルスは人類が未暴露のウイルスであり、COVID-19 の症状・臨床経過、重症化の危険因子・併存する疾患の影響など解明されていないことが多いのが現状です。リウマチ性疾患についても COVID-19 の経過に与える影響についてはよく分かっておらず、症例を蓄積することが重要と考えられます。

本研究は日本リウマチ学会リウマチ専門医が治療中のリウマチ性疾患患者さんのうち、COVID-19 と診断された患者さんの臨床情報を収集し、リウマチ性疾患が COVID-19 に与える影響を検討することを目的として計画されました。本研究により、リウマチ性疾患をお持ちの患者さんが COVID-19 に罹患した際の診療方針、注意点などが明らかになり、実際の診療に活かされるが期待されます。

### 調査の方法

全国の日本リウマチ学会リウマチ専門医が勤務するリウマチ科・膠原病内科においてリウマチ性疾患で通院中に 2020 年 1 月 1 日から 2022 年 5 月 31 日までに新型コロナウイルス感染症(COVID-19)と診断された患者さんのうち、2000 名を対象にします。当院では、リウマチ内科外来・腎臓内科外来へ通院されているリウマチ性疾患の患者さんが対象となります。

### ▶ 調査項目

- ・年齢(生年月)、性別、妊娠の有無、人種、身長、体重、喫煙歴、電子タバコ喫煙、合併症、
- ・COVID-19 に関する項目：発症日・入院日・退院日、診断場所、診断法、症状(診断時および 1 週間後、2 週間後)、濃厚接触歴(発症日前 14 日以内)、治療薬、COVID-19 による合併症、転帰
- ・リウマチ性疾患に関する項目：診断名、COVID-19 診断時の疾患活動性、治療薬
- COVID-19 診断後の基礎疾患治療の有無・継続・中止、
- ・血液検査結果(COVID-19 診断前、COVID-19 診断時、診断後 1 週間、2 週間の 4 時点)：白血球数、リンパ球数、好酸球数、ヘモグロビン、血小板数、CRP、LDH、AST、ALT、eGFR、BUN、Dダイマー、フェリチン、Na、K

\*患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報とは調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

※ 調査への参加を希望しない場合には、お手数ですが下記の調査責任者へご連絡ください。

調査責任者：リウマチ膠原病科副部長 山本真理 TEL :052-652-5511